

No.	013	—	2001	事務事業名	中山間地域等直接支払事業	細事務事業名		公的関与	9				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農業振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	22年度～26年度	<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策	(2) 農業生産基盤の充実				
	事業の対象	中山間地域の農地				根拠法令	中山間地域等直接支払交付金実施要領						
	事業の目的	最終的	担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保することを目的とします。			今年度							
	活動内容	①	耕作放棄地の発生防止活動			④							
		②	水路・農道等の管理活動			⑤							
		③	多面的機能を増進する活動										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定ができません。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
ODO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業				費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	69,898 千円	69,020 千円	69,579 千円	中山間地域等直接支払事業 第1期H12～H16(5年間) 第2期H17～H21(5年間) 第3期H22～H26(5年間)							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	23,634 千円	23,403 千円	23,606 千円								
	計(A)	93,532 千円	92,423 千円	93,185 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.008 人	7,614 千円	0.949 人	7,154 千円	1.008 人	7,451 千円					
		臨時職員工数・経費	0.100 人	171 千円	0.000 人	0 千円	0.100 人	168 千円					
	全体事業費(A+B)		101,318 千円		99,577 千円		100,804 千円						
一次評価者	農業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	耕作放棄地の防止を図るうえで必要であります。また、中山間地域等直接支払交付金実施要領に基づき実施します。												
有効性	事業を実施することにより、耕作放棄地の防止に大きな効果があります。												
達成度	目標面積はないが、対象農用地における耕作放棄地はないため目標は達成しています。												
効率性	農用地の面積に応じて、各集落に交付しているため効果に対するコストの影響はありません。なお、システムを導入しています。												
当面の課題	農業者のニーズは高く、中山間地域農業の保全を図る上で事業効果は大きいですが、農業者の高齢化等により、事業面積は縮小する可能性があります。												
改革計画	中山間地域等において、農業生産活動等の維持を図りながら、多面的機能を確保するため、高齢化の進行にも配慮した取り組みやすい制度に見直し、実施しています。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	大きい事業効果が認められ、更なる交付金の有効活用を推進する必要がありますが、集落機能が縮小している現状から、将来的な目標達成は困難な状況にあり、中山間施策全般の見直しが必要と思われます。												

No.	013	—	2011	事務事業名	農村環境改善センター維持管理事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農業振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	1 農業の振興		主要施策					
	事業の対象	農業者				根拠法令	東温市農村環境改善センター条例						
	事業の目的	最終的	農林業の振興及び生活環境の改善、合理化また地域連帯感の醸成等を図り、農村の環境整備を効果的に推進します。				今年度						
	活動内容	①	使用申請受付・許可書発行				④	修繕事務					
		②	ガス・水道・電気メーター検針及び料金支払い				⑤						
		③	施設警備、消防設備点検、浄化槽維持管理、特殊建築物定期調査、植木剪定、電気保安業務委託事務										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
				事業の性質上、指標設定ができません。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業						
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	14 千円	3,870 千円	958 千円								
		一般財源	1,587 千円	6,546 千円	2,384 千円								
		計(A)	1,601 千円	10,416 千円	3,342 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.163 人	1,231 千円	0.170 人	1,281 千円	0.170 人	1,257 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		2,832 千円		11,697 千円		4,599 千円						
一次評価者	農業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	利用者を農業者対象としている東温市唯一の施設です。												
有効性	農業者にとって利便性の高い施設になっています。												
達成度	農業者対象の会議が減少、また他施設を利用するようになったことから、使用頻度が低くなっています。												
効率性	築後長期間が経過し、修繕箇所が多く発生していますが、限られた予算内で効率よく修繕等実施しています。												
当面の課題	農業者対象ということで、利用頻度が減ってきました。また、建物の老朽化のため修繕費用が増加傾向となっています。												
改計画	今後も市で維持・管理していく予定です。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	農林業者の減少と、他の施設利用などにより、利用が低迷している現状です。事業目的に沿って利用増を図り、維持・管理していく必要があります。												

No.	013	—	2013	事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	細事務事業名	補助金交付・申請受付報告・現地確認・協定変更・実績報告事務	公的関与	1				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	19年度～23年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち	政策項目	1 農業の振興	主要施策	(6)環境保全型農業の促進						
	事業の対象	共同活動支援（農地、農業用水、農村環境等の保全向上活動）22地区 営農活動支援（共同活動支援地域内で行う環境負荷を低減する営農活動）3地区 愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会				根拠法令	東温市農村環境保全向上活動支援事業補助金交付要綱						
	事業の目的	最終的	地域住民など多様な主体の参画を得ながら地域共同で取組む農村環境等の保全活動及び環境に優しい営農活動に対し支援を行い、農村環境等の将来にわたる適切な保全管理と地域住民共助活動の促進による農村地域の活性化を図ります。				今年度						
	活動内容	①	農業者やその他の地域住民を中心とし、地域が一体となって農用資源の適切な保全管理や農村環境向上を行う活動組織に対し、地域協議会を経由して交付金を交付します。				④						
		②	活動組織の中で、化学肥料及び化学合成農薬の大幅な低減により環境負荷を低減し先進的な営農を行う農家に対し地域協議会を経由して交付金を交付します。				⑤						
		③	愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会及び市の推進事業について補助金を交付及び受領します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
						目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	14,098 千円	13,657 千円	15,539 千円	平成23年度より農地・水・環境保全向上対策は農地・水保全管理支払交付金となり、営農活動支援交付金が分離して環境保全型農業直接支援事業となり、代わりに、向上活動支援交付金が追加されます。平成23年度予算は従来の共同活動支援交付金と追加した向上活動支援交付金を計上しています。							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	14,140 千円	13,610 千円	15,542 千円								
	計(A)	28,238 千円	27,267 千円	31,081 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.042 人	317 千円	0.430 人	3,241 千円	0.430 人	3,179 千円						
	臨時職員工数・経費	0.021 人	36 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		28,591 千円		30,508 千円		34,260 千円							
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	国策事業として農地・農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取組と、環境にやさしい先進的な営農活動を支援する必要があります。												
有効性	資源の適切な保全管理を行うとともに農村環境の保全等にも役立つ地域共同の効果の高い取組を促進することができます。												
達成度	農地・農業用水等の資源を活用して行う生態系保全、水質保全、景観形成等の農村環境を向上させています。												
効率性	国の制度に基づき実施している事業であり、本市独自の判断で事業を見直すことは困難です。												
当面の課題	地域で様々な人々の参画を呼びかけていかなくは、農地や農業水路などの農業関連施設の保全・管理がままならなくなってしまいます。												
改革計画	地域資源に誇りを持ち、地域が一体となって地域の農業関連施設や環境などを保全・向上していくことの大切さについて理解を深める必要があります。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市内農振農用地面積の8割の面積を対象に実施しており、県内トップの取り組み状況となっておりますが、十分な成果を上げていない地区もあることから、事業内容の充実を図る必要があります。												

No.	013	—	2018	事務事業名	森林病虫害等防除事業	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託・補助等	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	塩ヶ森ふるさと公園の松林 (3ha)				根拠法令							
	事業の目的	最終的	松くい虫の被害から守るため、防除薬剤の地上散布を実施するとともに枯れてしまった松の伐倒整備を行い、駆除薬剤を散布することで被害の拡大を防ぎます。松枯れを防ぐことにより、景勝地として維持し、また水源かん養や崩落防備等の防災機能を維持することができます。				今年度						
	活動内容	①	松くい虫防除薬剤の地上散布を実施します。				④						
		②	枯れた松の伐倒整備を行い、松くい虫駆除薬剤の散布を行います。				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
				事業の性質上、指標設定ができません。		目標							
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
				実績									
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業				費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	284 千円	298 千円	300 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	210 千円	212 千円	355 千円								
	計(A)	494 千円	510 千円	655 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.052 人	393 千円	0.042 人	317 千円	0.042 人	310 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		887 千円	827 千円	965 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の財産である塩ヶ森ふるさと公園の松林を守り、また松林の持つ防災機能を維持するために必要な施策であると考えます。薬剤等についても人体に影響のないものを用いています。												
有効性	松林を枯らさずに残すことができ、施策の目的を実現するためには有効な事業です。												
達成度	地上散布業務を行うことで、松林の松枯れの被害拡大を防ぐことができ、十分目標は達成できています。												
効率性	地上散布は年に1回、伐倒駆除は松の枯れ具合を見て必要最低限の回数で実施しており、必要最小限のコストで効果を上げています。												
当面の課題	地上散布以外にも、より効果の高い事業の方法を模索していく必要があると考えます。												
改革計画	今後とも効率的な事業実施に努めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	近年、松枯れが多くなっており、薬剤の樹幹注入等、より安全な環境配慮型防除への転換等、検討する必要があります。												

No.	013	—	2021	事務事業名	被害木防災対策事業	細事務事業名		公的関与	3				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(2) 森林の保全・育成と総合的利活用				
	事業の対象	東温市内の放置被害木				根拠法令							
	事業の目的	最終的	山道、林道、市道や河川周辺の放置被害木(松林)を伐倒整理し、道路機能や河川機能の確保に努め、防災の一助とします。				今年度						
	活動内容	①	被害木(松林)の伐採、撤去を行う。				④						
		②					⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		被害木の本数		放置被害木の本数の大小は住民生活の生活・安全に影響を与えうるものであると考えたからです。			本	目標	—	—	50		
						実績	225	330					
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	農林水産業			費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	704 千円	735 千円	819 千円								
	計(A)	704 千円	735 千円	819 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	227 千円	0.011 人	83 千円	0.011 人	81 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		931 千円	818 千円	900 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	住民の生活の安全を守るため、今後も市が主体的に事業を実施する必要があります。												
有効性	事業を継続することで、施策の目的を実現しており、有効な事業です。												
達成度	東温市内に存在する放置被害木の調査を行った上で、倒木や倒木の恐れのある被害木を伐倒・整理していますので、目的は達成しています。												
効率性	効率的に行われており、実施手段等特に問題はありません。												
当面の課題	防災対策として、松林以外の伐採も検討する必要があります。												
改 革 画	今後とも効率的な事業実施に努めます。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	施行箇所は、毎年異なるため、今後も実施する必要があります。												

No.	013	—	2022	事務事業名	森林ボランティア事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	東温市民の方々				根拠法令							
	事業の目的	最終的	森林ボランティア活動を通じて、森林のもつ公益的機能についての理解を深めるとともに、森とのふれあいにより、森づくりの輪を広げていきます。			今年度							
	活動内容	①	抵抗性松の植樹			④	木質ペレットづくり						
		②	椎茸の植菌			⑤	枝打ち						
		③	杉・桧の間伐										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		森林ボランティアの活動人数		参加者数の大小が、目的達成度を測る一指標になると考えるからです。		人	目標	—	—	(スタッフを除いて)40	70		
					実績	(スタッフを除いて)25	(スタッフを除いて)26						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	245 千円	263 千円	457 千円								
	計(A)	245 千円	263 千円	457 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.041 人	310 千円	0.043 人	324 千円	0.043 人	318 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		555 千円	587 千円	775 千円								
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	近年高まりつつあるボランティア・エコへの市民の関心の受け皿として、市が主体となって活動を行うことは必要と考えます。												
有効性	目的の達成のため、市が適切な内容を決定する今の事業方法が有効です。												
達成度	概ね達成できていると考えておりますが、さらに参加人数が増えるように取り組んでいきます。												
効率性	他の自治体の取り組みを参考にし、他の関係機関と協力することで、より効果を挙げられるよう検討していきます。												
当面の課題	参加人数の拡大のため、ボランティアの内容、告知方法等について再考が必要と考えます。												
改革計画	他の関係機関の取り組みを参考にし、より効果的で多くの人に参加してもらえる森林ボランティア活動が行えるよう検討中です。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	事業内容に比して、コスト高と思われます。より多くの人に参加を呼びかけ、方法改善を行う必要があります。												

No.	013	—	2025	事務事業名	有害鳥獣捕獲事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	農林振興課	係名	農林振興係	電話番号	089-964-4409	メールアドレス	nourinshinkou@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託・補助等	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 林業の振興		主要施策	(1) 計画的な森林整備の推進				
	事業の対象	市内の山林及び山林に隣接する農地及び農作物				根拠法令							
	事業の目的	最終的	有害鳥獣による被害が深刻化しており、その被害を最少限に抑えるため、有害鳥獣捕獲活動及び農林地への侵入防止対策を実施します。			今年度							
	活動内容	①	有害鳥獣(野猿、猪、鹿、カラス)の捕獲事業			④							
		②	農林地等侵入防止施設の整備事業			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		有害鳥獣の捕獲数		農作物被害を起こしうる鳥獣を捕獲した数		頭、羽	目標	目標は定めておりません	目標は定めておりません	目標は定めておりません	目標は定めておりません		
					実績	猿44,猪27,鹿18,カラス227	猿56,猪106,鹿23,カラス45						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	農林水産業			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	130 千円	292 千円	250 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,830 千円	4,415 千円	5,963 千円								
	計(A)	2,960 千円	4,707 千円	6,213 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.083 人	627 千円	0.113 人	852 千円	0.113 人	835 千円					
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,587 千円	5,559 千円	7,048 千円									
一次評価者	農林振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民の農作物等への被害を食い止めるために、必要な施策です。												
有効性	事業を行うことで、被害を未然に防ぎ、拡大を最少限に抑えている点から有効です。												
達成度	侵入防止策については、現地視察でも周囲の農地と比べ被害が少なく、目的は達成できていると考えます。捕獲事業については、被害を抑えるというよりは現状維持に留まっており、新たな策を講じる必要があります。												
効率性	生息数に伴い捕獲数が年々増加してきており、適切な捕獲を継続するため、捕獲奨励金や補助金の見直し等が必要と考えます。												
当面の課題	鳥獣の行動範囲が銃器の使用できない市街地の近くまで広がってきており、被害、目撃の情報が寄せられてもすぐさま捕獲を行うことが出来ない場面が出てきています。												
改革計画	捕獲だけではなく、農家の方々に鳥獣を呼び寄せてしまう作物残渣の処理の徹底や防護柵の整備等の自衛のための策にも力を入れていただき、山から下りてくる鳥獣が増えないようにします。												
二次評価者	農林振興課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	猟友会による捕獲事業は、サル、イノシシ、シカ、カラスの捕獲実績も多く、効果を上げていますが、カラスを奨励金対象にし、サルの奨励金を他の有害獣に合わせるなど、見直しを行いました。今後、サルの被害が頻発、広域化しており、現状の対策では効果に限界もあることから、農家による自衛等、意識啓発を図るなど、対策の見直しを図っていく必要があります。												